

レジメン名	診療科
DVd	血液内科

適応疾患
再発/難治性の 多発性骨髄腫

1クール	21日間(1~8クール)28日間(9クール以降)
総クール	奏効中継続
休薬期間	6日間

薬剤名(一般名)	投与量(mg/m <sup>2</sup> )	投与日 (d1~d5、d1、d8等で記入)
ダラツムマブ	16mg/kg	d1, 8, 15(1~3クール)d1(4クール以降)
ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	d1, 8(1~8クール)

内服併用薬	投与量(mg/日)	用法	投与日(d1~d5, d1, d8等)
レナデックス	20mg	分1朝食後	d2, 9(1-3クール) d2, 8, 9(4-8クール)
カイトリル	2mg	ダラザレックス投与 30分前	d1, 8, 15(1~3クール) d1(4クール以降)
アセトアミノフェン	900mg		
ポララミン	4mg		

処方 (輸液・プレメジ・ポストメジを含む)

番号	薬剤名・用量(mg/m <sup>2</sup> )	投与方法	投与速度	投与日(d1~5等)
①	デキサート20mg + 生食100mL	DIV	60分	d1, 8, 15(1~3クール) d1(4クール以降)
②	生食 50mL(フラッシュ用)	DIV	10分	
③	ベルケイド1.3mg/m <sup>2</sup>	SC	-	d1, 8(1~8クール)
④	ダラザレックス16mg/kg + 生食(対応量)	DIV	下記参照	d1, 8, 15(1~3クール) d1(4クール以降)
⑤	生食 50mL(フラッシュ用)	DIV	10分	

備考 (減量・中止の基準を記載してください)

- 慢性閉塞性肺疾患もしくは気管支喘息の既往歴のある患者には  
気管支拡張薬及び吸入ステロイド薬の投与を考慮すること
- 必要に応じてDay1にプラナルカスト10mg、またはその同等品を経口投与すること
- 75歳を超える高齢者、又はBMI:18.5kg/m<sup>2</sup>未満の患者、コントロール不良の糖尿病又はステロイドに忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には  
デキサメタゾンを20mg/週で投与可

【ダラザレックス投与速度指示】

● 初回投与・2回目投与

50mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる

● 3回目以降

初回・2回目投与時にinfusion reactionが認められなかった場合、

100mL/Hrで開始。1時間毎に50mL/Hrずつ上げ、最大200mL/Hrまで上げることができる